

Special Contents

坂本龍一氏 収録「北極の音の風景」

北極の氷が最小になり、地球温暖化の足音がリアルに聞こえるこの季節。地球ラウンジの「触れる地球」では、いまこの瞬間、地球のどこかで発生している台風や北極の氷の減少ぶりをリアルタイムで見ることができます。また坂本龍一さんが北極で自ら収録してきた「北極の氷が融ける音」も聴いていただくことができます。北極の静謐な音に耳を傾けながら、2050年の北極と地球をイメージしてみてください。

「^{さわ}触れる地球」とは？



竹村真一／Earth Literacy Programが開発した次世代のインタラクティブなデジタル地球儀。リアルタイムの気象情報や地震・津波、渡り鳥やクジラなどの地球移動、人口爆発や地球温暖化、PM2.5など、生きた地球の姿を映し出す。大型版（GKテックと共同開発）は2005年グッドデザイン賞・金賞、2013年には中型普及版（JVCケンウッドと共同開発）がキッズデザイン賞 最優秀賞・内閣総理大臣賞を受賞。

「^{さわ}触れる地球」の主な展示実績

愛・地球博（2005）、Water展（21_21 DESIGN SIGHT,2007）、G8洞爺湖サミット（2008）、COP15（国連気候変動会議,2009）、COP10（国連生物多様性会議,2010）、スミソニアン・デザインミュージアム（NY,2011）、WEFダボス会議（中国大連・天津,2011/2012）、うさぎスマッシュ展（東京都現代美術館）、国連防災世界会議（2013,2015,2017）、コメ展（21_21 DESIGN SIGHT,2014）、札幌国際芸術祭（2014）、ミラノ万博・日本館（2015）、G7伊勢志摩サミット（2016）で展示。また、オランダ国立科学博物館など国内外で常設展示多数。

主宰：竹村真一

京都造形芸術大学教授。NPO法人 Earth Literacy Program 代表。地球時代の新たな「人間学」を提起しつつ、IT を駆使した地球環境問題への独自の取り組みを進める。「触れる地球」や「100万人のキャンドルナイト」、「Water展」 「コメ展」(21_21 DESIGN SIGHT)などを企画・制作。2014年2月、東京・丸の内に「触れる地球ミュージアム」を開設。東日本大震災後、政府の「復興構想会議」専門委員に就任。また国連 UNISDR（国連国際防災戦略事務局）からの委嘱で、2012年以降「国連防災白書」のコンセプトデザインを担当。「食の万博」ミラノ万博では日本館の展示を企画・監修。J-WAVE ナビゲーターも務め、「グローバルセンサー」（2009～2011）に続き2015年10月から「アーストーク」をホスト。著書に「地球の目録」（PHP新書）、「宇宙樹」「22世紀のグランドデザイン」（慶応大学出版会）、「地球を聴く」（坂本龍一氏との対談；日経新聞社刊）、「新炭素革命」（PHP）など。「宇宙樹」は高校の国語の教科書にも採録されている。



【お問い合わせ】丸の内・^{さわ}触れる地球ミュージアム
行幸通り地下通路（東京駅前・東京都千代田区丸の内2-4-1先）
※東京駅と皇居をつなぐ行幸通りの地下通路
<http://earth-museum.jp/marunouchi/> E-mail:marunouchi@earth-museum.jp

【アクセス】
[JR東京駅] 丸の内地下中央口より地下道にて直結 [丸の内線東京駅] 地下道より直結 [千代田線二重橋駅] 7番出口より行幸地下通路に直結 [三田線大手町駅] D1出口 [東西線大手町駅] B1出口 [半蔵門線大手町駅] A5出口 [有楽町線有楽町駅] A1出口 ※丸の内仲通り経由 [三田線・千代田線・日比谷線/日比谷駅] A3出口 ※丸の内仲通り経由



触れる地球ミュージアム 2017 2050年の地球展



2017.9.15^金-10.15^日 11:00-19:00 休館日：金曜日

9月15日（金）夕刻に内覧会・開幕式を実施、終了後一般向けのオープニングトークショーを実施。

会場：行幸通り地下通路（東京駅前・丸の内） 入場料：無料

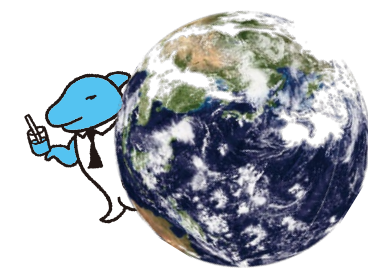
子ども達が大人になる2030年、彼らが社会の中核となり子育てする2050年、地球と日本はどうなってゆくでしょう？

地球温暖化、水や食糧の危機、高齢者人口が4割を超える社会、AIに仕事を奪われる？…いろいろな懸念もありますが、一方で暗雲を吹き飛ばすようなポジティブなビジョン、それを支える新たなアイデアも生まれています。

21世紀の子ども達の未来への想像力を、20世紀の常識で縛らないようにしたい。

東京駅前・行幸通り地下^{さわ}「触れる地球ミュージアム」後期（テーマ“2050年の地球”）は、思いっきり想像力の飛距離を伸ばして、私たちの未来ビジョンのリフレーミング（枠組転換）をはかる企画を用意します。

“It’s too late to be pessimistic” — 悲観している暇があったら未来を創造しよう！
^{さわ}触れる地球ミュージアムの新企画にご期待下さい。



SCHEDULE イベントスケジュール

第2期「2050年の地球展」	9月15日(金)	/ 未開の未来
	16日(土)	子ども地球教室 / 未開の未来
	17日(日)	子ども地球教室
	18日(祝) 敬老の日	子ども地球教室
	19日(火)	
	20日(水)	
	21日(木)	
	22日(金)	
	23日(祝) 秋分の日	子ども地球教室
	24日(日)	子ども地球教室
	25日(月)	
	26日(火)	
	27日(水)	
	28日(木)	/ 未開の未来
	29日(金)	
10月1日(土)	子ども地球教室	
2日(日)	子ども地球教室	
3日(月)		
4日(火)		
5日(水)	/ 未開の未来	
6日(木)		
7日(金)	子ども地球教室	
8日(土)	子ども地球教室	
9日(祝) 体育の日	子ども地球教室	
10日(火)		
11日(水)	/ 未開の未来	
12日(木)		
13日(金)		
14日(土)	子ども地球教室 / 未開の未来	
15日(日)	子ども地球教室	

丸の内 触れる地球ミュージアム「2050年の地球展」

代表 竹村真一氏が発案・開発プロデュースしたデジタル地球儀「触れる地球」Tangible Earthを使用し、「2050年の地球」をテーマに「地球の体調」「どこでもドア地球」「地球の温暖化 2つの未来」「人口・都市「地球人」の創生?」「Sim地球 あなたが選ぶ未来」などを展開。その他、併設展示を展開します。

- 毎週金曜日は休館日
- 行幸通り地下通路
- [主催] NPO法人 Earth Literacy Program
- [共催] NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
- [特別協賛] 日本財団(「海と日本」プロジェクト)
- [後援] 文部科学省、農林水産省、環境省、千代田区、東京都味の素(株)、(株)ウェザニューズ、サントリー食品インターナショナル(株)、JA全農(全国農業協同組合連合会)、(株)シェルター、(一社)太陽経済の会、日本アジアグループ(株)、日本リファイン(株)、(財)Next Wisdom Foundation
- [協賛] 三菱地所(株)、(一社)大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、(一社)大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツヴァリア協会)
- [展示協力] 清水建設(株)、ソニー企業(株)、美ら海水族館((一財)沖縄美ら島財団)、中越パルプ工業(株)、(株)内田デザイン研究所、アズラボ(株)、(株)JVCケンウッド
- [運営監理] (株)STORY
- [企画協力] POOL Inc.

EVENT & SEMINAR/WORKSHOP イベント/セミナー ワークショップ

子ども地球教室

各回 14:00-14:45
無料・要予約・定員50名

「触れる地球」を使って地球のふしぎ、地球の未来について考えます。
子ども(小学校高学年以上)にもわかりやすく解説します。
講師:竹村真一、「触れる地球」ナビゲーター

テーマ「2050年の地球」

- ・北極の氷が最小になる9月~地球温暖化の行方(未来の2つのシナリオ)
- ・本来この星にエネルギー問題は存在しない?~宇宙時代のエネルギー戦略
- ・Sim地球~いま見ている地球だけが地球ではない(いろんな地球の可能性)
- ・「水の世紀」~人類は水をめぐって争う?いえ解決策はありますか!
- ・「地球基準」で日本を再設計する

未開の未来

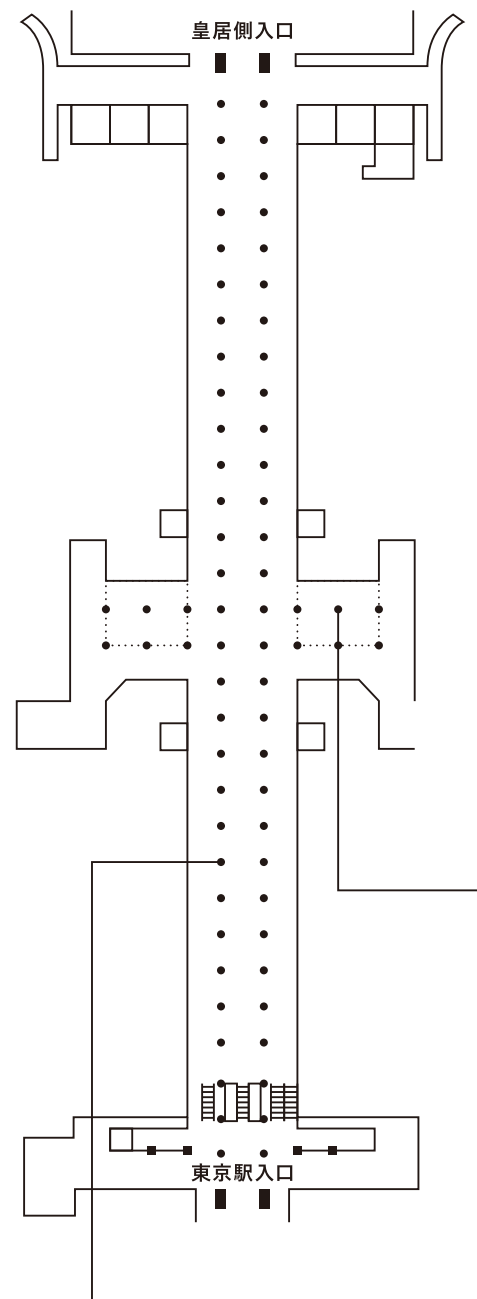
無料・要予約
定員50名

モデレーターの竹村真一(触れる地球ミュージアム主宰)が毎回多彩なゲストを招き、想像力の飛距離を思いきり伸ばして、地球の未来を語り合います。

- 9月15日(金) 2050年、人類は宇宙に暮らす? ~宇宙エレベーターと人類文明圏の拡張
18時半開始
山崎直子氏(宇宙飛行士)
佐藤実氏(東海大学清水教養教育センター)
- 9月16日(土) 21世紀、人類は深海に暮らす?
15時半開始
吉田郁夫氏(清水建設/海洋未来都市プロジェクト・グループリーダー)
- 9月28日(木) お金の未来 ~ブロックチェーンは人類を解放するか?
18時開始
斎藤賢爾氏(慶大SFC上席研究員)
- 10月5日(木) 心からだ、人間の進化
18時開始
安田登氏(能楽師・ロルフアー)
- 10月11日(水) 芸術の未来、脳と五感の進化をめぐって
18時開始
港千尋氏(多摩美術大学教授・芸術人類学研究所)
- 10月14日(土) 総括トーク
18時開始
竹村真一・井上高志氏(Next Wisdom Foundation代表)

イベントの詳細・参加申込は、公式サイトで受付中
<http://earth-museum.jp/marunouchi/>
 キーワード

※イベント予定・内容・ゲストは、変更になる可能性があります。予めご了承ください。最新情報は公式サイトでご確認ください。




EXHIBITION 展示


未来の都市、未来の暮らし

地球の未来に向けての様々な先進的な取り組みを紹介します。

2050年、人類は海に暮らす



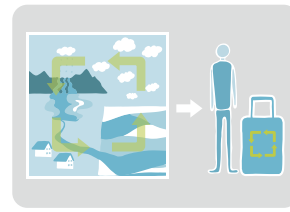
宇宙と地球が「常時接続」される未来



21世紀の高層建築は、木でつくろ?



変わるか? 水に流してばかりの日本



2050年の東京、丸の内の未来



宇宙船地球号のエネルギーシステム



イルカが教える未来の地球



Aの未来とBの未来

2050年の地球は、どんな世界になっているのか。いま予想されているAの未来と、視点や方法を変えたBの未来を比較できます。

農業は、人類最大の失敗?

2050年、もう、水に流さない。

2050年、もう、水は使えない。

農業がつくるのは、食料だけではない。

人口100億、寿命100歳。

人生100年、4つの生き方。

世界の都市は、沈没寸前?

沈むなら、浮かんで暮らそう。

2050年、石油王退場。

2050年、太陽王誕生。